



DAMANHUR **ぽぽろ**
 ダマヌール日本ニューズレター

POPOLO



春号

《 第33号 》

発行 ダマヌール日本

発行日 2014年 4月11日

<http://damanhur.jp>

特集 過去生のリサーチ



《写真・人類の神殿 迷宮》

忘れてしまった過去生の記憶

ダマヌールでは人生は一度きりのものではないと考えています。肉体は魂の乗り物です。永遠の存在である魂は一つひとつの人生で、それぞれに違う肉体を得て体験を重ね、いくつもの人生を経験しながら精神的な成長を続けています。誰にもそうした人生が一つに限らず無数にあるのです。

一つひとつの人生は時代も場所も性別も人間関係もまったく異なり完結していますが、今生での自分の生き方や性格には無意識下で過去生の記憶が影響しています。現在のポイントから見て、記憶をよみがえらせるための糸口となる過去の人生は、今のあなたに強く影響を与えているものといえます。自分が大好きなもの、気になること、湧き上がる感情、知っていると思える国、風景、民族…思い出してください。そうしたことに、あなたの過去生の記憶を紐解くヒントが隠されています。

古代から「人間の心の中には、宇宙のすべての真理が詰まった秘密の小部屋がある」といわれています。そうなるすべての体験が私たちの中に刻まれているはずですが、しかし私たちには過去生での記憶はほとんどありません。なぜ明確な過去生の記憶が持てないのでしょうか。その

ひとつの理由は、私たち自身が、それぞれの過去の人生の体験に伴う、豊かな記憶や感情を無条件に受け止めきれないことにあります。

ダマヌールの過去生のリサーチでは、セミナーに参加することを決めた瞬間から過去生の記憶とつながり、それに関連したいろいろな事象が起こり始めます。

独自の調査にもとづく再体験

過去生に関する情報は、事前にダマヌールのオラクル（神託）道のスペシャリストたちによって調査されます。それは時や次元、魂の構造を研究検証してきたダマヌールならではの過去生の本質的な要素を明らかにする、他に類のない綿密で繊細な調査です。

こうして得られた調査結果をもとに、一人ひとりの過去生の記憶に繋がりがやすいように保護された特別な環境の中で、2泊3日のコースが展開されます。そこでは、記憶の感覚を拡大するセルフックなテクノロジーと、インストラクターのリードで、過去の自分がどんな人生を過ごしていたのか、どんな感情を味わっていたのか、誕生から死の瞬間までを自分自身で詳細に思い出し再体験していきます。

過去生 魂に刻まれた記憶を取り戻す

私たちの魂は広大な宇宙や時の拡がりの中を旅しながら生まれ変わり、多くの体験を刻んで今生にいます。私たちの心の中には宇宙の真理や豊かさ、魂のすべての体験から得た記憶や知恵が存在しているのです。

ダマヌールの過去生のリサーチでは、あなたの過去生からもたらされた豊かな才能や可能性を自ら認識できるよう、独自のセルフイックなテクノロジーの恩恵にあずかりながら、経験豊かなインストラクターのリードのもと、さまざまな体験が引き出されます。意外な自分を発見すること、そして内面を理解することは、この人生での魂の進化を加速させるチャンスとなります。

記憶と感覚を拡大し自分自身の タレントを引き出す

過去生での体験は魂によって引き継がれ、現在の肉体でも感情や記憶としてリアルに思い出すことができます。ダマヌールが提供する過去生のリサーチの特徴として、その人自身の過去生の出来事を今によみがえらせて再体験することで、より強烈に今に引き継がれている個性や特質、また課題を引き出し、この人生に活かせるようにします。セミナーで今この肉体に再現した鮮烈な過去の人生の感情や記憶は再び肉体に刻まれて、今世でその質や特徴を活かすことができますようになります。ですから一方的に「前世にあなたは…」と伝えられるチャネリングによる過去生リーディングや、催眠療法で引き出されるものとは全く違います。自分が誰だったかを知らされることで満足して終わるものではないのです。誰にでも安全で効果的で理解しやすい体験型のセミナーです。

セミナーの間、あなたは今とまったく違う人生を生きることになります。自分の過去の人生と向き合いたした時には多少の違和感があつた人も、セミナー終盤や、終わってしばらくしてから「あの人生は本当に私自身だったのだ」と感じるができるでしょう。

またセミナーに参加することは一つのバブルの中に入っているようなものです。ですから一緒に参加した方々は個々の人生を探求してそれぞれ別の人生を見つめながらも、一つにつながっているような感覚になります。どの人生もあたかも自分の過去生であったかのように体験するのです。こうして体験を共有することは、より深く広い人生の洞察へと意識を向かわせ、さらに多くの過去生の体験へと誘い、魂同士のつながりをも感じさせ、豊かな人生の気づきへと導きます。

記憶を取り戻すことで 人生を豊かにする

ここで大切なのは、セミナーの中で過去生の再体験を通して、そこにあつた感情や感動をあなた自身に溢れんばかりに湧き上がらせることです。それは、他の人から「あなたの過去生はこうでした」と伝えられるだけでは決して味わえないものになるでしょう。そして、今の自分の中に過去生から持ってきた多くの感情や驚くほど

の豊かさ、可能性が生きているという事実を受け入れて理解することも大切です。私たちは過去生を知ること、より価値のある豊かな人生を送ることができます。

あなたが思い出し体験するその人の人生は、もしかすると今のあなたの道徳感や価値観からすると受け入れ難いものがあるかもしれません。現在の自分からは受け止め難い所業や環境や結末も待っているかもしれません。あるいは、絶世の美女や偉大な賢者だった過去生から「私ってすごい！」と思うかもしれません。しかし、それらは魂がその人生でしかできない体験と学びを得るための状況設定に過ぎず、過去の状況を知ることのみがセミナーの目的ではありません。良し悪しは現代の価値観でしかなく、時代によって変わるものです。どんな自分の人生も精一杯生きたことを尊重し、学び続ける永遠の魂を賞賛して受容する覚悟も必要となるでしょう。すべては進化への気づきのヒントとなります。

自分自身で思い出し、再現し、感じ、飛び込み、浸り、チャレンジする。このセミナーを通して一つひとつの人生が現在の自分自身の細胞の中に息づいているのを感じることができます。そしてそれを自覚することから、あなたの人生を今以上によりよく生き始めることができるのです。体験的に気づくことを重ねて他の過去生へもアクセスできるようになります。

人間は本来、進化し続ける生き物です。そして真の進化のためには過去の記憶を取り戻し、過去の体験から得た知識を生かし、さらに新たな体験を積み重ねていく必要があります。進化の方向性から考えると、記憶を取り戻したらもう同じ体験を繰り返す必要がなくなります！

ダマヌールの過去生のリサーチに参加してセミナーの体験を今の人生にいかしていくことは、確実に一人ひとりの人生の進化に結びつくことでしょう。さあ、あなたの内なる旅に出かけませんか？あなたの意志と勇気とファンタジーの力で過去生を再体験し、しっかり今の人生と結びつけてみませんか。この大きな心の内面への旅の主演はあなた自身です。



インストラクター紹介

フェニーチェ・フェルチェ



ダマヌール創立メンバーの一人。スピリチュアルヒーラー。死に関する準備教育の第一人者でもあり、かつてローマで開催された「死に関する国際シンポジウム」では、ダライ・ラマ法王と共にパネラーを務めました。また、秘教的物理学・ダウジング、インナーハーモニゼーション、セルフ学的催眠療法、アストララベルのスペシャリスト、古代エジプト哲学とミステリーの研究者として国際的に活躍しています。

その豊かな研究体験と深い理解、幅広い知識にあふれた講演は多くの参加者を常に魅了してやみません。

通訳 ジュゴン・クスノキ



ナチュラルセラピー・ホリスティック健康科学博士。ダマヌールのスピリチュアルヒーラー。2003年よりダマヌールの在住市民。ダマヌールのメディテーションの学校・インナーハーモニゼーション・アストララベルの公認インストラクターであり、秘教的な探求

の道の専門は、オラクル道の聖なるダンス。ダマヌールでの生きた体験と豊富な知識、ダマヌールの思想と哲学への深い理解からなされる通訳は、多面的で複雑なダマヌールを知るうえで欠くことのできない存在として定評があり、メディテーションの学校や日本で行われるセミナーの専属通訳として活躍しています。

著書に「ダマヌール 未来への光」(ビオ・マガジン)

過去生セミナー体験記

過去生の人物を実際に訪ねてみました

随分前になりますが、ダマヌールの提供するセミナーにとっても強く惹かれていたころ提供されるセミナーには全て参加してみようと思っていました。丁度その頃過去生ワークがあって受講しました。

その当時、腰痛があってそれも10年来のもので、何が原因かわからない状態でした。その間、病院や民間療法、挙げ句の果ては見えない世界へと導かれるようにありとあらゆるセミナーに参加したり、世界中のエネルギースポットへ旅したりと自分を変えれば、何かが変わるという思いで取り憑かれたようになっていました。そんな頃にワークは、始まりました。

ワーク中は頭の中が混乱状態で、なかなか思うようにいきませんでした。でも動きながらのワークの時に突然走りたい、早く歩きたい、人にみられたいという衝動にかられ、どうしたのかなあと自分でも不思議でした。

終わってからその人物が私の過去生だったとは信じられなくて、その人について色々調べることになりました。その人を知る岡山市役所や親戚の人へ電話したりしていくうちに、本も出版されていることがわかり、自叙伝もありで、より詳しくその人について知ることができました。そのうちに、何時の間にか腰痛もすっかりなくなっていました。

過去生を思い出すことでこれ程の変化があったことは驚きでした。その後に新聞とかテレビでよくその人のことが報道されました。人生を振り返ってみて中学

生の時病気になったことは、同じ人生を繰り返さないようにそうだったとしか思えないです。何故なら大好きな運動ができなかったし、その方向で進んでいたら、今私はダマヌールに出会っていなかったかもしれません。全て受けられる過去生を(私の場合は6回)知り得た今、それを知ることによって自分を良く知る事ができ、それは自分の自信にもなりました。過去生ワークはととても好きなセミナーの一つです。

(50代 女性)

参加者の一人として、他の方の過去生も興味深く体験しました

私は二度目の過去生体験なので自分が中国人の陶芸家だとわかっていて皆の観察をする余裕が若干ありました。ご一緒に受講した人たちの驚愕のミラクルを体験させてもらい、このセミナーの醍醐味に触れました。まず始まりに黒ずくめの服で現れた青年に、インストラクターが「あなたはなぜ、今日その洋服を選んだのですか?」と問いかけていました。さらにインストラクターは彼に「今世はもっと明るい色にチャレンジしてみても?」とアドバイスしていましたが、黒い服は彼の過去生の体験に結びついたものでした。無意識に今日の衣装として身に着けてきたものが、過去生を象徴するものだったことに驚かされました。

他にはおぼろげでも何かを思い出した人、サッパリ実感の湧かない人さままででした。中にお金に関わるお仕事をしている女性がいらして、密貿易を生業にする商人という過去生に納得いかない様子で、不満と苦

悩が隠せない感じでした。ところが一晩たって次の朝、人が変わったようにハツラツとした笑顔で現れて、シェアしてくださったのは、昨晚の夢で映画を見るように自分の人生が再現され、貧しい幼少期に大変な苦勞をしたことや、愛する妻子にひもじい思いはさせたくないという純粹で温かい気持ちを思い出したというのです。それがダマヌールでの事前リサーチの内容とぴったりで、これにはまたも驚き感動を覚えました。

このように偶然にも一緒に受講することとなった人同士が、自分だけでない人生を知ることが必然として意味があるようで、個々に限定しない人生の深さのようなものを共感できたように思います。

さて、私の場合、子供の頃から絵を描くのが好きだったのですが、陶芸もやれると自信がわいたことと、犬を飼うのが怖かった理由もわかりました。なぜかという詳しいことは内緒にしておきます。

怒涛の二日間が終わり、過去と今の自分にシンクロする悩みが解消されたり、持っていたという才能に新たに挑戦する意欲がわいたり、出来事への対処行動に合点がいたり、参加者は銘々に感慨深げでした。

単に過去生の自分を面白がるものとは違い、このセミナーでは、これからの人生の示唆となる貴重な体験ができました。

ダマヌール日本のブログ&メルマガ案内

2014年2月、ダマヌール日本のブログを開設しました。試行錯誤ですが、やりながら学ぶということで始めました。ダマヌール日本のメンバーが、日々、感じたこと体験したことや、出来事を発信しています。

URL：<http://damanhurjpblog.com>

メルマガではダマヌールから講師を招いて行うセミナーの案内やイベント、現地体験セミナーの最新情報、シンクロニック・ホロスコープなどをお届けしています。メルマガはダマヌール日本のWEBサイトより登録できます。

あなたの街へうかがいます！ ダマヌールの出張セミナー ～ダマヌールのミニ講演会～

ミニ講演会では講師のフェニーチェ・フェルチェが、ダマヌールの哲学や理論、活動などのエッセンスをわかりやすくお話しします。

ダマヌールの創立メンバーとして、39年間をダマヌールと共に歩んできたフェニーチェ・フェルチェだからできる熱い話を聞いてみませんか！“話を聞いてみたい”という方が何人か集まってグループができれば地域へ講演に伺います。ミニ講演会とあわせて、フェニーチェのプラノセラピーや個人リーディングのセッションも可能です。

詳細はご相談ください。

最後には、それぞれ次に影響されている過去生のヒントをお土産に帰ることになりました。きっと第3番目の過去生も受講するだろうなという確信を持って。実際、私はその後第4まで受けてしまいました。

(40代 女性)

過去生リサーチ開催案内

日時 9月19日(金) 19:30 開始
～21日(日) 18:00 終了予定

会場 京都 関西セミナーハウス
(修学院きらら山荘)

※ダマヌールでの事前調査のために、
出生地と 生年月日、正確な出生時刻、写真2枚(最近のもの10～15年くらい前のもの)が必要です。
調査には時間がかかりますので申し込みは7月中のしめきりとなります。

(申し込み先)

メールもしくはFAXにてお問い合わせください。

ダマヌール日本

damanhur@cty-net.com

Fax 059-355-5614

ダマヌール日本 神戸センター

damanhur-kobe@s5.dion.ne.jp

Fax 0798-23-9161



～これまで開催してきた主なテーマ～

- ・地球のシンクロニックライン
- ・人間は3次元のマジックなデザイン
- ・進化し続けるコミュニティー ダマヌール
- ・錬金術とマジック
- ・ダマヌールのヒーリングと健康観
- ・カルマと生まれ変わり など

“ダマヌールを知る会& プラノセラピー体験会”

ダマヌールを気軽に知って頂くことを目的に、イタリア・ダマヌールの紹介ビデオ上映、スタッフによるプラノセラピーの説明や体験談の紹介など、皆でざっくばらんに語り合う会です。

ダマヌールで開発された機械を通じて植物たちが音楽を奏でる生ライブもお届けしています。4月～5月に神戸、大阪にて2回開催します。

秘教的物理学への招待 受講感想

5回連続セミナー「秘教的物理学の学校」も、5月は3回目をむかえます。テーマは「タイムトラベラー—タイムトラベラーの物語」です。ダマヌールの神髄ともいえるこの連続セミナーは、途中からの受講も可能です。受講された方からいただいた感想をご紹介します。

真っ白に清く光輝く流線形をしたチェスの駒は、あらゆるモノを引きずり込んでしまう、窪んだブラックホールの様なマスの上に置かれる。

次第にその白き流線形の足元からは暗黒が侵入してくるが、その駒は自らの体に暗黒を取り込みながらも、さらに自身の光を増していき、なんとか再び元の純白の輝きと姿を取り戻す。

暗黒のマスもまた、美しく清いブルーのマスへと姿を変え、自らを取り戻していく。

3月15日、16日と京都の修学院で開催された「秘教的物理学の学校」第二回目が終わって、翌日の朝からはまたいつもの環境と仕事と生活が始まりました。

目に見える私の現実は一見何も変わらずに過ぎていっている様に見えるかもしれませんが、私の内面的な世界は、実は、もの凄く飛躍的に進化を遂げ、日々の検証を重ねていく中で、質が高まっている事をここで告白します(笑)

しかしここは4%の世界でしかないという事を念頭に、自らの感覚を広げ世界をとらえていく探究を楽しくそして真剣に、続けていこうと思っております。

「私が何かをするのは人々のためであって、自分のためではない。私のために奇跡を起こす何かができるのは、あなた達のみです」by ファルコ

ぼぼろ・第32号 巻頭より転載

オベルト・アイラウディという人物もダマヌールというコミュニティーも、その存在を知ったのは今年の晩秋の頃で、まだ半年しか経っていませんが、あの時の微かな自分の声と時の流れを信じて本当によかった。

講義の中でもありましたが、多少不安でも、「心配しながら勇気を持って行動していく」という事が、いかに大切であるか身に染み入る2日間だったなあと今振り返ります。根っからの怠け者である自分は特に！！

はるばるイタリアから来日して下さったフェニーチェ・フェルチェ、そしてジュゴン・クスノキさんを始め、明るく、精力的に活動をされているダマヌールの日本のスタッフの方々にとっても感謝しています。益々の発展とご活躍を心からお祈り申し上げます。

日々の生活の中、人と会い、お互いに関わり合い、協働して仕事や社会をつくっていく中で、今現在の私自身の生活はあまりにも平凡すぎて世界や宇宙の成長にどれだけ貢献できているか。そして、究極の現在へ

向けてどんな、どれだけインパクトのある行動ができるか分からないけども、今。まず目の前にある生活、環境から始めていってそのエリアをどんどん拡大していくようなイメージと希望を持ち始めています。

野には花や様々な昆虫達が今年もまた活動を始め、渡り鳥達も移動し、楽しくさえずっています。自分の子供の頃に比べたらやはり数は減った様に思います。多様性は刻一刻と失われているのではないかとやはり感じるのです。

これ以上虚無が広がる事がない様に、自分の感情の中に生きるヒントを探して、常にクロスチェックと純粋な思いを胸に。

「だって、イルミネーションしたいもん！」(笑) 違うか…

最後に、知れば知るほど、人間が持っている可能性は、生きているという事は、現実というモノは、そんなに限られたものじゃない。確信に迫っていく。

私達が存在するという事は、すごい事なんだ。それが自分の生きる前提となっていくためには、自分の確信にするためには、研究して検証して納得して認知して腑に落ちないと、人の言う事を信じている、迷信している、宗教の世界になってしまう。

新しい見解、新しいそうなんだ。こうなんだを増やしていく、行動していく。毎日の暮らし生活をクリアした上でやっていくわけだから大変な事なんです。

自覚しましょう。

希望を持って前に進もう

言葉の一つ一つとても印象に残る、心が清々しくなる、秘教的物理学の学校、第二回でした。

今回は途中で終わってしまった時の構造と、知られざるタイムトラベラーの物語、そして目をキラキラさせて笑うフェニーチェの日本語「おうもしろいねー」を聞きに！？(笑) 再び参加します。健康な状態で会えるのを楽しみにしております。 でわ。

(Sさん・男性)

次回以降の予定

第3回：2014年5月24日(土) 25日(日)
・タイムトラベラー—タイムトラベラーの物語

第4回：2014年7月19日(土) 20日(日)
・古代文明とアトランティス以前の歴史

第5回：2014年9月13日(土) 14日(日)
・アトランティス以前の歴史とエイリアン文明

注：エイリアン文明とは、地球外知的生命体がもたらした文明のこと

会場は京都、関西セミナーハウスです。

ダマヌールのコミック「時へのチェックメイト」より (11)

フォスコはダマヌールから出て行きます...

① 全員ではないにしても、彼らは同じ考えを共有していました

おっと

フォスコ、今夜のオラクルの儀式で君を見なかったな...とてもきれいだったよ

とてもきれいだった

うーん、馬だとオープン神殿からこまであつという間なんだ

おう、そのバッグに手を貸そうか? すごく重そうだね

えーつと、いや、神殿で他の用事があつたんだ...でも、どうしてもここにいるんだい?

バッグ?...えーつ、いやいや気にするな、すごく軽いんだ! おやすみ

すごく軽い?

おやすみ

② 数ヶ月後...

おめでとう! 1992年が喜びと成長に富んだ幸せな年になりますように!

おめでとう! 1992年が良い年でありますように!

さあみんな! つるはしを下ろすんだ彼らと一緒に、お祝いにしよう!

おめでとう! おめでとう!

今日はフォスコと一緒に残さな

新しい市民達がダマヌールを動かすことを、彼らは全く納得しなかったんだ

彼らがダマヌールを変化させ成長させたことね...

まあいいさ、でもそのために立ち去った。あんなに腹を立て!

お別れの挨拶もなしに...今頃何をしているのかしら...かわいそうに...たった一人で...

③

神父様、僕はそうあって欲しくないのですが、あのコミュニティーはいまや危険になったのです

なぜです? 一貫性のある、よく働く立派な人達のように思いますが...

はい、神父様。僕も長い間そう思っていました...でも...あることで...

息子よ、言ってください。何かあるのですか?

彼らは大きな秘密を持っています

秘密!? いったい何ですか?

神殿です...ひとつどころか、たくさんの神殿です...地下の

地下に神殿?...カトリックの教会ではないのですか?!

えっ、いえ、神父様違います。カトリックの教会ではありません...

とすると...教義に反している...なんとかしなければ...

...阻止するんだ!

彼らが正義の道を取り戻すよう助けてあげなければ

④ パチカン市国、少して

わかった、わかった...すぐにその仕事を私がしている。誰にも祝福はいけません。神の祝福がありますように

ありがたいことに私に最初に知らされた! 教会の中にもこの人達と対話をしたがる人がいるだろう...私が作っている同調者網をテストするのに適切な機会だ

大臣につないでください。プライベート回線で

何百人もいて、自分達の国家を創り出した...法律や、通貨、儀式さえも持っている...キリスト教の儀式ではない! 危険な存在になると懸念している。彼らを阻止すれば、確実に我々は有利になるだろう

いいですね。もちろん彼らを止めさせるよう説得できます。いつも銀行による圧力や、新聞やテレビに結構な大きさの中樞調査をだすとか...何かで脅して、きつと何か見つかるでしょう。誰か、隠しているんじゃないですか?

うーむ...そうだな。もし何も見つからなかったら、彼らをしつかり怖がらせる必要があるだろう、なんならあの君達の特殊部隊で...

特殊部隊?! でもその上のレベルの非常事態でない!...

そうだな、兵士達にテロリストの隠れ家を探しに行くように言えるだろう...

うーむ...はい...たぶん...何らかの権限を動かすことはできます

もちろん、自由裁量で。友人達に力になってくれるように言おう。神の祝福がありますように、大臣殿

チェックメイト!

こんにちは、大臣殿。ご家族はお元気ですか? みなさんが健康でありますように、神のご意思があれば

はい、はい、すべて上手くいっています。ありがとうございます、陛下。あなたのために何をいたしましょう

デリケートな件です。教皇庁で話すつもりはありません。トリノ近く、聖母教会の道を失った人々のグループがいるという情報が届きました

えー、地域からすると、それは初めてではないでしょう

確かに、だがいつもの異教徒のグループではない

次号、兵士達がダマヌールにやって来ます...